

# Principal Correspondence

## 「あけましておめでとうございます」

日系アメリカ人の友人からもらった額に書いてある  
ポエムを紹介します。

To be a teacher	教師であること (それは子供たちの)
amend the past	過去をいやし
enhance the present	今を勇気づけ
and	そして
touch the future	未来の扉を開かせること

先日この言葉を職員でかみしめました。

リリーのモットーは「いつもあたたかく、いつもあたらしく。」ですが、この言葉を訳してみますと Always warmhearted, always progressive. といったところでしょうか？当校の英語教師たちが苦勞して訳してくれました。

リリーに限らず、**水戸という土地は「梅は春のさきがけ、水戸は天下のさきがけ」と**いわれるように、**時代を切り開く「さきがけ」の人を多く輩出している**ところです。

日本で最初の女性小学校教諭は「黒澤時子」という人ですが水戸の出身。日本で最初の幼稚園教諭「豊田芙雄子」も水戸の出身です。明治のはじめ東京にできた師範学校に小学校ができた時、さらに幼稚園ができた時に、それぞれ初めて赴任したと伝えられています。幼小一貫教育を目指すリリーにとって、この先人たちが水戸出身であったことは、勇気づけられる歴史であります。



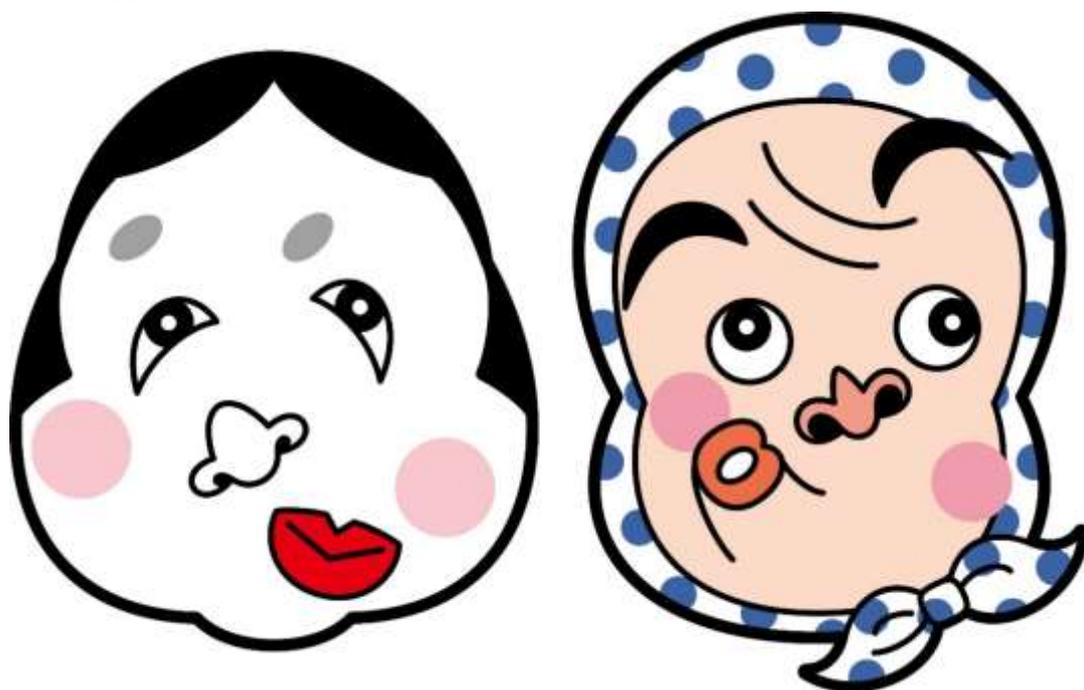
ちなみに、水戸からは日本初の看護師「曾我こうじ(漢字が難解で表示できません)」という女性があり、彼女は明治初頭にロンドンのナイチンゲール看護婦養成学校に留学しました。日本初の飛行機の民間パイロット、武石浩波の銅像は水戸第一高校の構内に建っています。

リリーベール小学校で幼少期を学んだ子どもたちも、**将来リーダーシップをもつ自立した人として、創造性を発揮し、「さきがけ」の人材として世の中に貢献してもらいたい**と願っています。

# Principal Correspondence

## 「笑いこそ幸せな人生の秘訣」

あけましておめでとうございます。2025年、リリーの学童保育が始まって22年、リリー文化学園は創業77年になります。今年にはできるだけ笑顔を増やし、笑いを多くすることを学園のモットーとしていきたいと思っております。難しい、しかめっ面をして生きても人生、笑顔で過ごせるのも同じ人生です。



英国のジェントルマンの素養で欠かせないものにユーモアがあります。英国人は必ず会話にユーモアを交えてコミュニケーションを取るのですが(基本英国の流れを汲む米国も同じです), その極端な例は映画の007のジェームズ・ボンド氏が絶体絶命の状況のときに必ず一言冗談を言う場面です。それが英国紳士のやせ我慢であり、ゆとりであり、条件なのです。

さらに英国ウォーリック大学のオズワルド教授は、700人の学生に10分間のコメディを見せて大笑いしたグループと、そうでないグループに、二桁の足し算を解いてもらう実験をしました。その結果、コメディを見たグループは平均12パーセント高得点だったといえます(競争社会の歩き方・中公新書・大竹文雄)。笑いによる幸福度が高まると、生産性が高まる上に忍耐強くもなるという結果でした。リリー文化学園の幼少部門の先生には「一日一回はクラスで腹を抱えて笑う」という課題が出されています。

人生何でも前向きに考え、例え不遇に出会っても「それは自分の成長の為に与えてくれた試練のチャンス」ととらえていきたいものです。

大いに笑い、人の為に何かを与える人が、結果一番多くを得て、愛情とか、信頼とか、人望とか、必ずしも形には表れないかもしれませんが幸せになれるのです。

子どもたちに幸せな人生を歩んで欲しいと願うなら、認め、ともに笑い、ともに何かを与える経験をする一年にして参りましょう。

